

問1 北アメリカ大陸の中央平原からグレートプレーンズにかけての地域では、ロシアやカナダと並んで世界の輸出上位を占める小麦の栽培が盛んです。この地域で行われている小麦栽培の背景や特徴について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

- |                                     |   |  |   |
|-------------------------------------|---|--|---|
| 1. 広大な土地を活用し、大型機械を導入した企業的な農業が行われている | 2. 家族労働を中心として、限られた土地から高い収益を上げる集約的な農業が行われている | 3. 熱帯の気候を生かし、安価な労働力を大量に投入するプランテーション農業が行われている | 4. 都市への出荷を目的として、限られた土地に化学肥料を多用する近郊農業が行われている |
|-------------------------------------|---|--|---|

問2 ある国の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり約4人と極めて低く、1人あたりの国内総生産（GDP）が約4万2000ドルと高い水準にあり、さらに小麦の生産量が年間3000万トンを超える世界有数の農業国でもある国はどこか、次の中から選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）

- |        |         |        |           |
|--------|---------|--------|-----------|
| 1. カナダ | 2. ブラジル | 3. インド | 4. ナイジェリア |
|--------|---------|--------|-----------|

問3 アメリカ合衆国のサンフランシスコ近郊に位置し、大学や研究機関との密接な連携によって高度な技術開発が行われている、世界最大のICT（情報通信技術）関連産業の集積地を何と呼びますか。（2025年 兵庫公立入試 類似）

- |            |          |           |           |
|------------|----------|-----------|-----------|
| 1. シリコンバレー | 2. デトロイト | 3. ヒューストン | 4. ピッツバーグ |
|------------|----------|-----------|-----------|

問4 北アメリカ大陸の北部に位置し、かつてイギリスとフランスの植民地であった歴史的背景から、英語とフランス語の両方を公用語として定めている国はどこですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

- |        |            |         |            |
|--------|------------|---------|------------|
| 1. カナダ | 2. アメリカ合衆国 | 3. ブラジル | 4. オーストラリア |
|--------|------------|---------|------------|

問5 2015年のアメリカ合衆国と日本・中国の貿易関係について述べた文として、統計上の事実と一致するものはどれですか。なお、同年における日本からアメリカへの輸出額は約1343億ドル、アメリカから日本への輸出額は約640億ドルであり、中国からアメリカへの輸出額は約4841億ドル、アメリカから中国への輸出額は約1167億ドルであったものとします。（2017年 和歌山公立入試 類似）

- |                                  |  |  |   |
|----------------------------------|--|--|---|
| 1. アメリカは、日本と中国の両国に対して貿易赤字の状態にある。 | 2. アメリカは、日本に対しては貿易黒字だが、中国に対しては貿易赤字である。 | 3. アメリカと中国の貿易額の差よりも、アメリカと日本の貿易額の差の方が大きい。 | 4. アメリカから中国への輸出額は、日本からアメリカへの輸出額を上回っている。 |
|----------------------------------|--|--|---|

問6 2000年から2008年にかけてのアメリカ合衆国における地域別の経済統計において、南部は国内総生産が国内全体に占める割合が増加傾向にありました。この時期の南部の経済および人口動態の特徴を説明したものととして、最も適切な内容を選びなさい。（2015年 兵庫公立入試 類似）

- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 1. 北東部と比較して人口増加率が高く、製造業の生産額割合が他地域と比較しても最も高い。 | 2. 金融保険業の生産額割合が全地域で最も高く、北東部よりも人口増加率が低い。 | 3. 農業の生産額割合が中西部を上回って最も高く、国内総生産に占める割合は減少している。 | 4. 国内全域で人口増加率に地域による差は見られないが、南部のみ製造業の生産額割合が極端に低い。 |
|--|---|--|--|

問7 アメリカ合衆国の経済・社会指標の特徴について、地理的条件や産業の背景を踏まえて説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2024年 山形公立入試 類似）

- |  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 1. 世界最大の経済規模を背景に、1人あたりの国民総所得と発電量はともに極めて高いが、広大な国土を持つため人口密度は日本よりも低い。 | 2. 1人あたりの国民総所得は世界最高水準であるが、省資源化が進んでいるため、年間の総発電量は日本の約半分程度に抑えられている。 | 3. 広大な国土全域に人口が密集しているため人口密度が極めて高く、それが巨大な国内市場を形成して国民総所得を押し上げている。 | 4. 工業化が遅れているため、発電量はインドやエジプトなどの新興国を下回っているが、1人あたりの国民総所得だけが突出して高い。 |
|--|--|--|---|

問8 北アメリカ大陸の西部に位置するロッキー山脈の特徴と、その周辺の地理的状況について述べた文として正しいものはどれですか。（2022年 愛知公立入試 類似）

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 1. アメリカ合衆国とカナダの国境線の一部となっている北緯49度の緯線と交差している。 | 2. 大陸の東側に位置しており、大西洋に沿ってなだらかな標高の山々が続いている。 | 3. 南アメリカ大陸を南北に縦断する山脈であり、世界で最も長い山脈として知られる。 | 4. 古期造山帯に属しているため、火山活動はほとんど見られず、標高も1,000メートル程度である。 |
|---|--|---|---|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 広大な土地を活用し、大型機械を導入した企業的な農業が行われている	北アメリカの中央平原における農業は、広大な土地を背景にトラクターやコンバインなどの大型機械を駆使した「企業の穀物農業」が特徴です。これにより、少ない労働力で大量の小麦を生産することが可能となり、国内消費を上回る余剰分を世界中に輸出する「世界の食糧庫」としての役割を果たしています。家族労働を中心とする集約的な農業は主にアジアの稲作地帯などで見られる特徴です。
問2	<b>答え 1</b> カナダ	北アメリカ大陸の北部に位置するこの国は、ロシアに次ぐ世界第2位の広大な面積を持ちますが、寒冷な気候などの影響もあり人口密度は非常に低くなっています。一方で、広大な平原を利用した大規模な機械化農業が発達しており、少ない労働力で大量の小麦の生産量を実現しています。また、先進工業国として1人あたりの国内総生産も高いのが特徴です。
問3	<b>答え 1</b> シリコンバレー	カリフォルニア州のサンフランシスコ近郊には、スタンフォード大学などの有力な研究機関が集まっており、産学連携を通じて最先端の技術を持つベンチャー企業が多数誕生しました。1970年代以降、半導体やソフトウェア、インターネットサービスといった情報通信技術を核とした産業が発展し、現在も世界的なICT企業が本拠を置いています。
問4	<b>答え 1</b> カナダ	カナダは北アメリカ大陸北部に位置する、ロシアに次いで世界で2番目に広い面積を持つ国です。18世紀にイギリスとフランスの間で領有権が争われた歴史があり、現在でもケベック州を中心にフランス語を話す人々が多く住んでいます。このような背景から、国全体で英語とフランス語の二つを公用語として定めています。オーストラリアは英語、ブラジルはポルトガル語が主な公用語であり、アメリカ合衆国には連邦レベルでの公用語の規定はありません。
問5	<b>答え 1</b> アメリカは、日本と中国の両国に対して貿易赤字の状態にある。	提示された数値を確認すると、アメリカは日本に対しても（輸出640億ドルに対し輸入1343億ドル）、中国に対しても（輸出1167億ドルに対し輸入4841億ドル）、輸出額より輸入額の方が大きくなっています。この状態は両国に対して「貿易赤字」であることを示しており、特に中国との間では、輸入額が輸出額の約4倍に達するほどの極めて大きな赤字が生じていることがわかります。
問6	<b>答え 1</b> 北東部と比較して人口増加率が高く、製造業の生産額割合が他地域と比較しても最も高い。	アメリカ合衆国の南部は、かつての綿花栽培を中心とした農業地帯から、1970年代以降、温暖な気候や安価な労働力、広い土地を求めて先端技術産業や自動車産業などが移転したことで「サンベルト」と呼ばれる成長地域となりました。21世紀に入ってもこの傾向は続いており、古い工業地帯である北東部などと比較して高い人口増加率を維持しています。また、統計上も、製造業の生産額が域内経済において大きな割合を占めている点が、金融業が盛んな北東部や、大規模農業が盛んな中西部とは異なる南部の大きな特徴です。
問7	<b>答え 1</b> 世界最大の経済規模を背景に、1人あたりの国民総所得と発電量はともに極めて高いが、広大な国土を持つため人口密度は日本よりも低い。	アメリカ合衆国は高度に工業化された世界最大の経済大国であり、国民の豊かな生活水準を示す「1人あたりの国民総所得」や、産業・家庭での膨大なエネルギー消費を示す「発電量」において、世界でも際立って大きな数値を示します。一方で、日本の約25倍という広大な国土面積を持つため、総人口は多いものの、単位面積あたりの人口を示す「人口密度」は、日本などの島国と比較すると低い値（約36人/km <sup>2</sup> ）になるのが地理的な特徴です。
問8	<b>答え 1</b> アメリカ合衆国とカナダの国境線の一部となっている北緯49度の緯線と交差している。	ロッキー山脈は、北アメリカ大陸の西側をアラスカから南へと縦断する巨大な山脈です。カナダとアメリカ合衆国の国境の多くは北緯49度の緯線に沿って引かれていますが、ロッキー山脈はこの緯線と交差するようにそびえ立っています。選択肢にある「大陸東側」はアパラチア山脈、「南アメリカ大陸」はアンデス山脈の説明です。